

# 来週の『売り物』記事はこれ



2016年6月10日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 絹を未来に 世界に一つだけの着物

12日(日)



完成品の着物ではなく、購入者自ら養蚕農家を訪ね、生糸の原料になる蚕に桑の葉を与える。工場で糸を紡ぎ、生地を織る体験をして「世界に一つだけの着物」の仕上げにかかわっていく。着物の市場規模が縮小する中、意欲的な商品作りに東京・銀座の呉服店が取り組んでいます。「スーパーに行くと『この野菜は私が作りました』と生産農家の名を書いて、顔写真が張ってある。着物にもトレーサビリティ（履歴表示）があれば、消費者も安心して買える」。各工程の生産者の顔も見せて着物の魅力を高め、世界に誇れる日本の文化を次世代につなげていきたい。そんな夢を追う呉服店社長の姿を追いました。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

## 中国人観光客の行動に気になる変化…

### 「爆買い」バブルが終わった！？

夕刊特集ワイド 13日(月)



東京都心の銀座や秋葉原で、すっかりおなじみの光景となった「爆買い」に変化？ 全国の百貨店で今春以降、免税店の売上げが低迷しています。最大の要因は、中国人観光客の買い物の勢いが鈍っていることです。昨年の流行語にもなった「爆買い」ですが、早くも失速してしまったのでしょうか。最近の日本経済を下支えしてきたとも言われるだけに、見逃せない現象です。その背景や、今後の展望などを取材しました。

## 多数決は本当に「民主的」なの？

### 「選挙」と「民意」を考える

オピニオン面 [そこが聞きたい] 16日(木)

6月22日に公示される参院選。結果次第では選挙後に憲法改正の発議や国民投票が行われる可能性も取りざたされています。当たり前ですが、選挙を含めてこれらはすべて多数決で決められます。それが民主主義の原理だからです。でも、単純な多数決で決まる「選挙結果」と「民意」には微妙なズレがある——と指摘する学者がいます。「多数決を疑う」で論壇に一大センセーションを巻き起こした、慶応大経済学部教授の坂井豊貴さんです。「常識」を問い直すような視座について、じっくり話を聞きました。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。



## 第71期本因坊戦第4局

13日(月)、14(火)



第71期本因坊戦は、井山裕太本因坊=写真=の2勝、挑戦者の高尾紳路九段の1勝で、第4局を迎えます。13、14の両日、舞台は長崎県西海市です。

開幕局を制した高尾九段に、井山本因坊は第2、第3局と連勝。第3局は、大激戦となりました。第4局も井山本因坊なら、7冠防衛まであと1勝と迫ります。一方の高尾九段は、流れを変えて4度目の本因坊タイトルを引き寄せたいところ。熱戦となりそうです。

## おかん飯「がんづき」



おんなのしんぶん 12日(日)



兵庫県の49歳女性読者が「岩手・宮城のおかん飯」として「がんづき」を紹介してくださいました。現地のお母さん方に作り方を習い、味のとりこになり、地元で魅力を伝える活動もしているそうです。今では道の駅の土産品にもなっている「お母さんの味」。西原理恵子さんと枝元なほみさんが、この読者さんに教わったレシピで実際に作ってみました。

## 白髪世代のおしゃれ

くらしナビA面 14日(火)

白髪や体形の崩れが気になるシニア世代ですが、無理に隠そうとすると、ぼやけた印象になり、逆に老けて見えます。メリハリを付け、清潔感を出すのが若々しく見せるポイント。東京・神楽坂の「ブティックケイズ」で30年間、シニア女性の着こなしを指南してきたファッションアドバイザーの佐藤恵子さん(69)にコーディネートのコツを聞きました。



## 親ががんになったら

くらしナビA面 15日(水)



歌舞伎役者の市川海老蔵さん(38)が、妻でフリーアナウンサーの小林麻央さん(33)が乳がんを患っていると明かしました。病状は深刻で、手術を受ける予定といます。海老蔵さんは「小さい子供のそばにいられない母親の気持ちは、私には計り知れない。苦しさ、つらさと闘っている」と話しました。子育て中の親ががんになった場合の課題について考えます。

## 子どもの事故を防ぐには

くらしナビA面 18日(土)

14歳以下の子どもが毎年300人以上、「不慮の事故」で亡くなっています。マンションの高層階から転落したり、海やプールでおぼれたり、間違っって食品以外の物をのみ込んだり。消費者庁は今年、関係省庁連絡会議を開いて対策を講じ始めました。夏休みが近づく中、例年どんな種類の事故が多発しているかを検証し、どのようにして防げばよいかを考えます。



# 吾小学生新聞

小学生新聞  
来週の“売り物、記事はこれ！”



23日の沖縄慰霊の日に合わせて、14日から「沖縄戦を知ろう」の企画が始まります。琉球新報のマスコットキャラクターのりゅうちゃんがさまざまなキャラクターから沖縄戦の話聞く構成。交流のある地元の新聞・琉球新報の小中学生新聞「りゅうPON！」の原稿を再編集しました。基地問題で今また揺れている沖縄の根っこにある沖縄戦の歴史を改めて学ぶのによい機会です。

販促宣伝部(電話 03-3212-1241) E-mail: urimono@mainichi.co.jp